

PCI- USERS MANUAL

PCI-Bus ULTRA SCSI HOST ADAPTER

SC-EX50

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

このマニュアルの構成

本マニュアルは以下のような構成になっております。

必ずお読み下さい

第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

ご使用方法

第2章 アダプタのインストール

本製品をコンピュータに取り付ける際の手順およびSCSI機器の接続方法について説明します。必ずお読み下さい。

ドライバインストール

本製品を使用するためのドライバインストール手順を説明します。
ご使用になるOSに合わせて該当する章をお読み下さい。

第3章
Windows95

第4章
Windows98

第5章
WindowsNT4.0

第6章
DOS環境

ユーティリティ

第7章 Smart SCSI ユーティリティ

本製品の詳細な設定を行う場合の構成ユーティリティの
使用方法について説明します。必要に応じてお読み下さい。

付録

付録A トラブルシューティング

「トラブルかな？」と思われる場合の対応方法について説明します。

付録B 接続例

本製品にSCSI機器を接続する場合の接続例です。

付録C 仕様

本製品の仕様について説明します。

《マニュアル内の表記について》
本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。
区別が必要な場合は製品型番で表記します。

User's Manual Ver.1.0 Rev.A

目次

第1章	はじめに	
1-1	概要	1
1-2	特長	1
1-3	各部の名称	2
1-4	対応機種および対応OS	2
1-5	梱包内容の確認	3
第2章	ハードウェア・インストール	
2-1	コンピュータへの取り付け	4
2-2	SCSI機器の設定	5
2-3	SCSI機器の接続	6
2-4	SCSIバスの最大長	9
2-5	アクセスLEDケーブルの接続	10
第3章	Windows95 インストール	
3-1	バージョン4.00.950または4.00.950aでのインストール	13
3-2	バージョン4.00.950bまたは4.00.950cでのインストール	23
3-3	インストールの確認	33
3-4	ドライバの削除方法	37
第4章	Windows98 インストール	
4-1	既存のWindows98環境へのドライバインストール	40
4-2	Windows98の新規インストール	41
4-3	ドライバの更新	43
4-4	インストールの確認	49
4-5	ドライバの削除方法	53
第5章	WindowsNT4.0 インストール	
5-1	既存のWindowsNT4.0環境へのドライバインストール	56
5-2	WindowsNT4.0の新規インストール	61
5-3	インストールの確認	62
5-4	ドライバの削除	66
第6章	DOS インストール	
6-1	既存のDOS環境へのドライバインストール	68
6-2	DOSの新規インストール	69
第7章	Smart SCSI ユーティリティ	
7-1	Smart SCSI ユーティリティの起動	70
7-2	Scan Bus (デバイスの検出)	71
7-3	Device Setup (デバイス設定)	72
7-4	Adapter Setup (アダプタ設定)	74
7-5	BIOS Setup (BIOS設定)	75
7-6	Disk Utility	76
付録A	トラブルシューティング	77
付録B	接続例	78
付録C	仕様	80

記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

第1章 はじめに

第1章

1-1 概要

本製品は、PCIバスを装備した IBM PC 互換機で使用可能なバスマスター・タイプの 32 ビット PCI Ultra SCSI ホストバスアダプタです。SCSI-1、Fast SCSI、Ultra SCSI の各 SCSI 規格に対応しており、SCSIバス上の最大転送速度は 20MB/秒です。最大 7 台の SCSI 機器を接続することが可能です。

本製品は、内蔵機器接続用の 50 ピンコネクタと外付け機器接続用の 50 ピンコネクタを装備しています。またアダプタ上のターミネータは自動的に設定されます。

1-2 特長

- ・ PCI Rev.2.1 準拠
- ・ バスマスタ・モードにより、高スループット・低 CPU 負荷率を実現
- ・ プラグアンドプレイに対応
- ・ Ultra SCSI、Fast SCSI、SCSI-1 の各 SCSI 規格に準拠
- ・ 高速データ転送、最大 20MByte/秒の Ultra SCSI に対応
- ・ 外付け/内蔵合わせて最大 7 台の SCSI 機器を接続可能
- ・ SCAM に対応、SCAM 対応デバイスへ SCSI ID を自動割り当て
- ・ アダプタ上のターミネータを自動設定
- ・ BIOS ROM を装備、SCSI デバイスからの起動が可能
- ・ SCSI コントローラ：Initio INIC-940

1-3 各部の名称

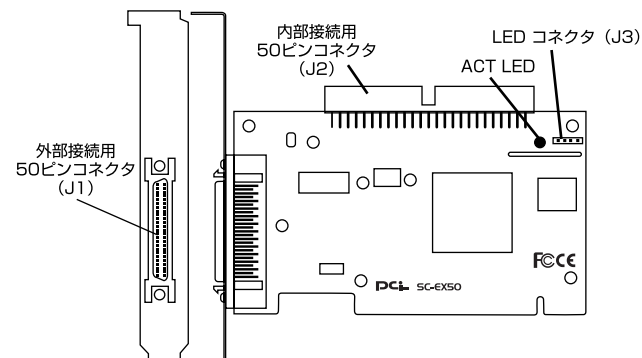


図 1-1 SC-EX50

外部接続用 50 ピンコネクタ(J1)：外付け用 SCSI 機器接続用の 50 ピンコネクタです。

内部接続用 50 ピンコネクタ(J2)：内蔵用 SCSI 機器接続用の 50 ピンコネクタです。

LED コネクタ(J3)：アクセス LED を接続するためのコネクタです。
ACT LED：SCSI バス上でデータ転送中に点灯します。

1-4 対応機種および対応 OS

対応機種

PCI バスマスタスロットを装備した IBM PC 互換機

対応 OS

DOS 5.x 以降

Windows 95/98

Windows NT 3.51 / 4.0

Linux の対応状況についてはホームページを御覧ください。

1-5

梱包内容の確認

- ・ SC-EX50 SCSIホストアダプタ
- ・ 内蔵用 50 ピン SCSIケーブル 1 本
- ・ ドライブディスク 1 枚
- ・ このユーザーズ・マニュアル

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

第 2 章

ハードウェア・インストール

本章では、本製品のコンピュータへの取り付け方法および SCSI 機器の接続方法について説明します。

2-1

コンピュータへの取り付け

▲ 注意 : 取り付けを開始する前に本製品が静電気で破損しないように、コンピュータのシャーシの金属部分を触るなどしてあらかじめ体内の静電気を放電しておいてください。また静電気を放電した後も、常にボードの端を持つようにし、ボード上の部品や金色の端子部分(エッジコネクタ)には触れないようにしてください。

1. コンピュータの電源を切り、次にコンピュータのカバーを外してください。カバーの外しかたについてはコンピュータのマニュアルを参照してください。
2. 空いている PCI スロットのカバーを外してください。

▲ 注意 : 本製品は、バスマスタ・スロットでのみ動作します。コンピュータ付属のマニュアルを参照し、バスマスタ・スロットを確認してください。

3. PCI スロットに本製品をしっかりと挿し込んでください。
4. PCI スロットのカバーを固定していたネジで本製品をコンピュータに固定してください。

2-2**SCSI機器の設定****2-2-1 SCSI ID の割り当て**

SCSI機器にはそれぞれ SCSI ID という番号が割り当てられます。本製品では、0 から 7 までの SCSI ID を使用できます。各 SCSI 機器には、すべて固有の SCSI ID を割り当てる必要があります。ほとんどの SCSI 機器は、何らかの SCSI ID が割り当てられた状態で出荷されています。例えば、本製品にも初期値で 7 という SCSI ID が設定されています。

一般的に外付け SCSI 機器の SCSI ID の変更は機器背面の SCSI ID スイッチで設定します。内蔵 SCSI 機器の SCSI ID はジャンパピンで設定します。各 SCSI 機器の SCSI ID を変更する方法は、各機器のマニュアルを参照してください。

本製品は SCAM プロトコルに対応しています。SCAM 対応の SCSI 機器を接続した場合、各 SCSI 機器に SCSI ID を自動的に割り当てます。

⚠ 注意 : SCSI ID 7 は本製品で使用されています。各 SCSI 機器には 7 以外の SCSI ID を割り当ててください。

2-2-2 SCSIバスのターミネートについて

SCSIバスの両端は、必ずターミネートする必要があります。本製品に接続した内蔵、外付けの各 SCSI ケーブルの終端に接続した SCSI 機器のターミネータを有効にするか、または SCSI ケーブル自体にターミネータを取り付けます。SCSI ケーブルの終端以外の SCSI 機器はターミネータを無効にします。また、本製品上のターミネータは自動的に設定されます。

各 SCSI 機器のターミネータを有効/無効に設定する方法については各 SCSI 機器のマニュアルを参照してください。

一般的には以下のような方法でターミネータの設定を行います。

- ・外付け SCSI 機器のターミネートは、ターミネータの取り付け/取り外しによって行います。機器によってはスイッチによってターミネータの有効/無効を切り替えるものもあります。
- ・内蔵 SCSI 機器のターミネートは、ジャンパピンによるターミネータの有効/無効の設定、または、終端抵抗の取り付け/取り外しによって行います。

2-3**SCSI機器の接続**

本製品には外付け・内蔵合わせて最大 7 台の SCSI 機器を接続することが可能です。接続例については、付録 B「接続例」を参照してください。

2-3-1 内部接続用 50 ピンコネクタへの接続

本製品に内蔵 SCSI 機器を接続する場合、本製品付属の内蔵用 50 ピン SCSI ケーブルを使用します。

1. ケーブルのコネクタ間が長い方の端のコネクタを本製品の内蔵用 50 ピンコネクタ(J2)に接続します。
2. SCSI 機器をケーブルの残りのコネクタに接続します。

3. ケーブルの終端に接続した機器のみターミネータを有効に設定してください。中間の機器はすべてターミネータを無効に設定してください。

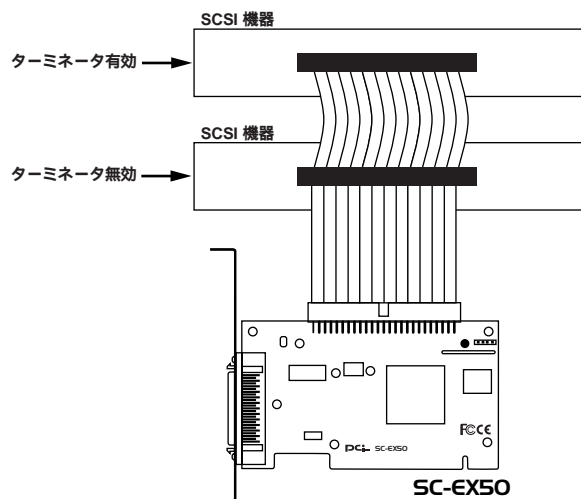


図 2-1 内部接続用 50 ピンコネクタへの接続

▲ 注意：内蔵用 50 ピンケーブルを本製品に接続する際は、ケーブル側の 1 番ピンと本製品上のコネクタの 1 番ピンが合うようにしてください。ケーブルはマークがついている方が、ケーブルに色のついている方が 1 番ピンを表します。本製品上のコネクタは、マークがついている方が 1 番ピンを表します。

2-3-2 外部接続用 50 ピンコネクタへの接続

本製品では、外付け SCSI 機器は 50 ピンコネクタで接続します。SCSI ケーブルの一端を本製品の外部接続用 50 ピンコネクタ (J1) に接続し、もう一端を SCSI 機器に接続してください。各デバイスともデジチェーン式に接続してください。デジチェーンの終端にあたるデバイスでは、必ずターミネータを有効にしてください。チェーン内の残りの機器はターミネータを無効にしてください。

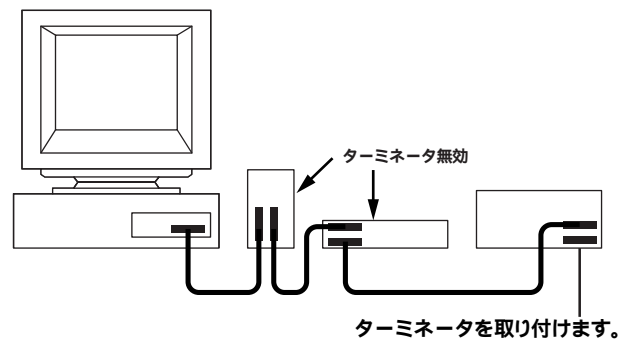


図 2-2 外部接続用 50 ピンコネクタへの接続

2-4 SCSIバスの最大長

SCSIバスは、使用できるケーブルの最大長に制限があります。表 2-1 は、SCSIの種類ごとのケーブルの最大長を示しています。SCSIバスの最大長は、本製品から出ているデジチェーン内で使用されているケーブル長の合計となります(内蔵用ケーブルを使用している場合は、この長さも含めます)。SCSIバスの長さが表に示されている値を超えると、SCSI機器が正常に動作しない恐れがあります。

本製品は、Ultra SCSI規格に対応しています。本製品にUltra SCSI対応のSCSI機器を接続して使用する場合は、SCSIケーブル長が内蔵・外付け合わせて1.5m(接続機器が3台以下の場合は3m)を越えないように注意してください。

SCSIの種類	データ転送速度	最大デバイス数	ケーブルの最大長
SCSI-1	5MB/秒	7	6m
Fast SCSI	10MB/秒	7	3m
Ultra SCSI	20MB/秒	7	1.5m
Ultra SCSI	20MB/秒	3	3m

表 2-1 SCSIバスの最大長

2-5 アクセスLEDケーブルの接続

ほとんどのコンピュータケースにはケース前面にハードディスクのアクセス状況を表すLEDが装備されています。本製品に接続したSCSI機器のアクセス状況を表示したい場合はコンピュータケースのアクセスLEDを本製品のLEDコネクタ(J3)に接続してください。

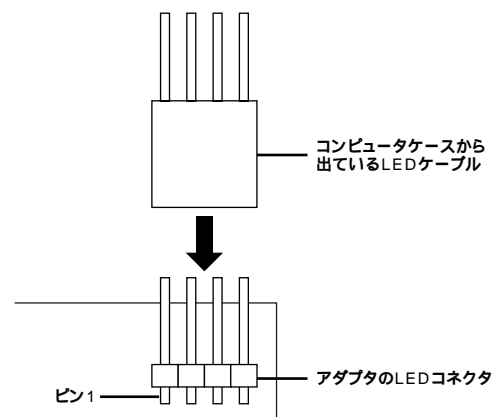


図 2-3 アクセスLEDケーブルの接続

第3章

Windows95 インストール

本章では、本製品を Windows95 環境で使用する場合のドライバのインストール方法について説明します。Windows95 ではバージョンによりドライバのインストール方法が異なります。インストールを行う前にご使用の Windows95 のバージョンを確認してください。

第3章

Windows95 のバージョンの確認

- 1.[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、そこから[コントロールパネル]をダブルクリックします。
- 2.[システム]アイコンをダブルクリックします。

- 3.[システムのプロパティ]ウィンドウの「情報」画面でシステムの欄を確認します。バージョンが「4.00.950」または「4.00.950a」となっている場合は、3-1「バージョン 4.00.950 または 4.00.950aでのインストール」の方法でインストールを行ってください。バージョンが「4.00.950b」またはそれ以外のバージョンになっている場合は、3-2「バージョン 4.00.950b または 4.00.950cでのインストール」の方法でインストールを行ってください。



第3章

3-1 バージョン 4.00.950 または 4.00.950a でのインストール

すでにインストールされている Windows95 環境で本製品を使用する場合は「3-1-1 既存の Windows95 環境へのドライバインストール」をご参照ください。

本製品に接続したハードディスクドライブに Windows95 を新規にインストールする場合は「3-1-2 Windows95 の新規インストール」をご参照ください。

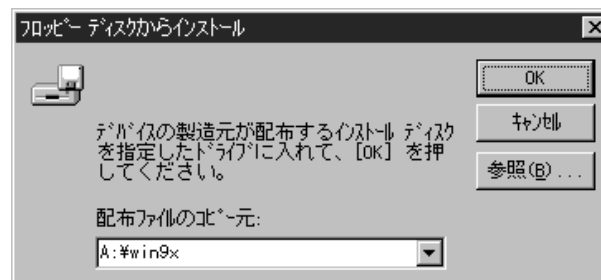
第3章**3-1-1 既存の Windows95 環境へのドライバインストール**

すでに Windows95 がインストール済みの環境へ本製品をインストールする場合は以下の手順でインストールを行ってください。

1. 本製品をコンピュータにセットし、コンピュータの電源を入れます。
2. Windows95 起動時に本製品が自動的に認識され、「新しいハードウェア」ウィンドウが表示されます。ここで「ハードウェアの製造元が提供するドライバ」を選択して[OK]ボタンをクリックしてください。



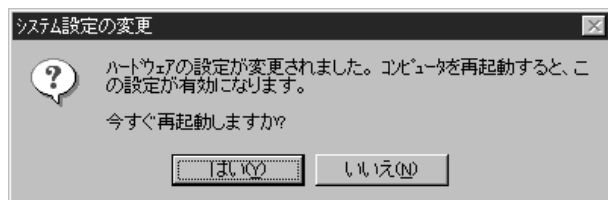
3. 「フロッピードライブからインストール」ウィンドウが表示されます。本製品付属のドライバディスクをフロッピードライブに入れ、配布ファイルのコピー元に a:\win9x と入力し[OK]ボタンをクリックしてください。



4. ファイルのコピーが開始されます。ファイルのコピー中に PLANEX SC-EX50 Driver Disk 上のファイルを要求するメッセージが表示された場合は、ディレクトリ名に a:\win9x と入力し[OK]ボタンをクリックしてください。

**第3章**

5. ファイルのコピーが終了後、コンピュータを再起動するよう画面で指示してきます。ドライバディスクをフロッピードライブから取り出し、[はい] ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。



6. SCSIハードディスクドライブを使用する場合は、再起動後 Windows95 の MS-DOS プロンプトで、FDISK コマンドおよび FORMAT コマンドを使用してパーティションの作成と初期化を行ってください。

3-1-2 Windows95 の新規インストール

本製品に接続したハードディスクドライブ上に新規に Windows95 をインストールする場合は Windows95 の起動ディスクから通常のセットアップを行ってください。

インストール時に本製品に接続した CD-ROM ドライブを使用する場合は以下の手順でセットアップを行ってください。

1. Windows95 の起動ディスクに、本製品付属のドライバディスクの ¥DOS ディレクトリから以下の 2 つのファイルをコピーしてください。

aspi910u.sys
inisd.sys

2. Windows95 の起動ディスクの config.sys ファイルおよび autoexec.bat ファイルを以下のように変更してください。

- config.sys に以下の 2 行を追加
device=aspi910u.sys
device=inisd.sys /D:oemcd001
- autoexec.bat に以下の 1 行を追加
mscdex.exe /D:oemcd001

3. 修正した Windows95 の起動ディスクから通常の手順でセットアップを実行してください。

4. セットアップ終了後、[マイコンピュータ] [コントロールパネル] [システム]と開いてください。

5. [デバイスマネージャ] タブをクリックしてください。[その他のデバイス]の左の[+]をクリックすると「PCI SCSI Bus Controller」が表示されます。



6. 「PCI SCSI Bus Controller」を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックしてください。[ドライバ]タブをクリックし[ドライバの変更]ボタンをクリックしてください。



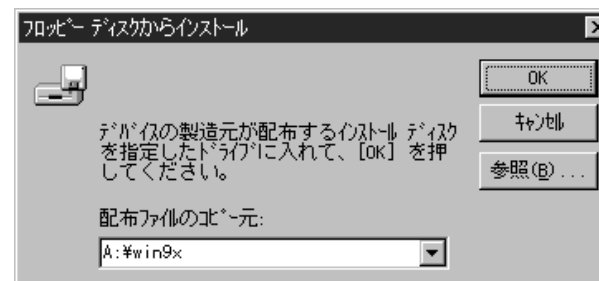
7. 「ハードウェアの種類」ウィンドウが表示されるので、「SCSI コントローラ」を選択して[OK] ボタンをクリックしてください。



8. 「ドライバの選択」ウィンドウが表示されます。[ディスク使用] ボタンをクリックしてください。



9. 本製品付属のドライバディスクをフロッピードライブに入れてください。「配布ファイルのコピー元」に a:\win9x と入力し [OK] ボタンをクリックしてください。



10. 「デバイスの選択」ウィンドウが表示されます。[OK] ボタンをクリックしてください。



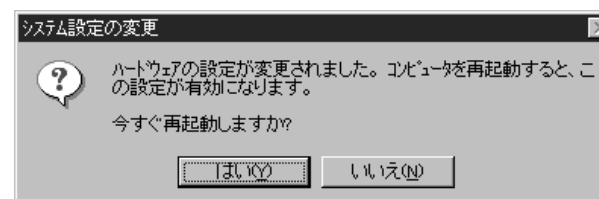
- 11.「PCI SCSI Bus Controllerのプロパティ」ウィンドウに戻ります。
[OK] ボタンをクリックしてください。



12. ファイルのコピーが開始されます。ファイルのコピー中に PLANEX SC-EX50 Driver Disk 上のファイルを要求するメッセージが表示された場合は、ディレクトリ名に a:\win9x と入力し[OK] ボタンをクリックしてください。



13. ファイルのコピーが終了後、コンピュータを再起動するよう画面で指示してきます。ドライバディスクをフロッピードライブから取り出し、[はい] ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。



3-2 バージョン 4.00.950b または 4.00.950c でのインストール

すでにインストールされている Windows95 環境で本製品を使用する場合は「3-2-1 既存の Windows95 環境へのドライバインストール」をご参照ください。

本製品に接続したハードディスクドライブに Windows95 を新規にインストールする場合は「3-2-2 Windows95 の新規インストール」をご参照ください。

第3章

3-2-1 既存の Windows95 環境へのドライバインストール

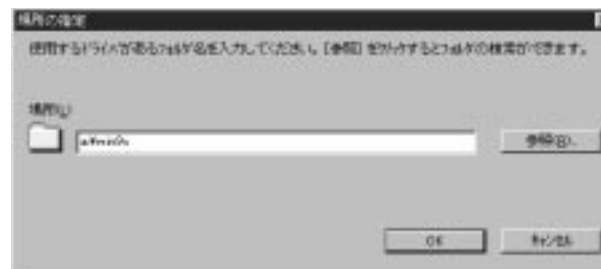
1. 本製品をコンピュータにセットし、コンピュータの電源を入れます。
2. Windows95 起動時に本製品が自動的に認識され、「デバイスドライバウィザード」ウィンドウが表示されます。本製品付属のドライバディスクをフロッピードライブに入れて、[次へ] ボタンをクリックしてください。



3. しばらくすると「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」と表示されます。ここで[場所の指定] ボタンをクリックしてください。



4. 場所の指定で a:\win9x と入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。



第3章

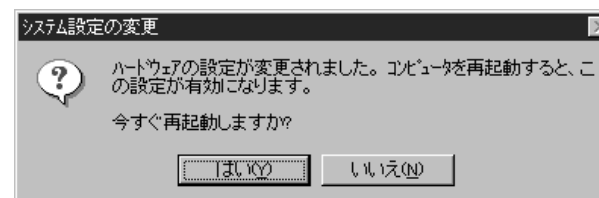
- 5.「このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました」と表示されます。[完了]ボタンをクリックしてください。



6. ファイルのコピーが開始されます。ファイルのコピー中に PLANEX SC-EX50 Driver Disk 上のファイルを要求するメッセージが表示された場合は、ディレクトリ名に a:\win9x と入力し[OK]ボタンをクリックしてください。



7. ファイルのコピーが終了後、コンピュータを再起動するよう画面で指示してきます。ドライバディスクをフロッピードライブから取り出し、[はい]ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。



8. SCSIハードディスクドライブを使用する場合は、再起動後 Windows95 の MS-DOS プロンプトで、FDISK コマンドおよび FORMAT コマンドを使用してパーティションの作成と初期化を行ってください。

3-2-2 Windows95の新規インストール

本製品に接続したハードディスクドライブ上に新規にWindows95をインストールする場合はWindows95の起動ディスクから通常のセットアップを行ってください。

インストール時に本製品に接続したCD-ROMドライブを使用する場合は以下の手順でセットアップを行ってください。

- 1.Windows95の起動ディスクに、本製品付属のドライバディスクの¥DOSディレクトリから以下の2つのファイルをコピーしてください。

asp910u.sys
inid.sys

- 2.Windows95の起動ディスクのconfig.sysファイルおよびautoexec.batファイルを以下のように変更してください。

- ・ config.sysに以下の2行を追加
device=asp910u.sys
device=inid.sys /D:oemcd001
- ・ autoexec.batに以下の1行を追加
mscdex.exe /D:oemcd001

- 3.修正したWindows95の起動ディスクから通常の手順でセットアップを実行してください。

- 4.セットアップ終了後、[マイコンピュータ] [コントロールパネル] [システム]と開いてください。

- 5.[デバイスマネージャ]タブをクリックしてください。[その他のデバイス]の左の[+]をクリックすると「PCI SCSI Bus Controller」が表示されます。



6. 「PCI SCSI Bus Controller」を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックしてください。[ドライバ]タブをクリックし[ドライバの更新]ボタンをクリックしてください。



7. 本製品付属のドライバディスクをフロッピードライブに入れてください。「自動検出をしますか？」で「はい」を選択し[次へ]ボタンをクリックしてください。



8. しばらくすると「このデバイス用の更新されたドライバが見つかりませんでした。」というメッセージが表示されます。[場所の指定]ボタンをクリックしてください。



- 9.場所の指定で a:¥win9x と入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。



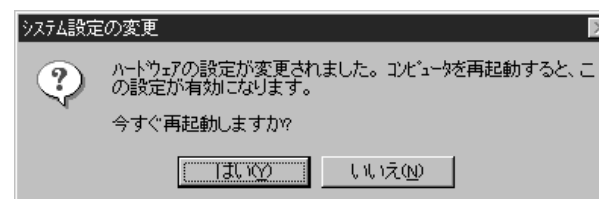
- 10.しばらくすると「このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。」というメッセージが表示されます。[完了]ボタンをクリックしてください。



- 11.PLANEX SC-EX50 Driver Disk上のファイルを要求するメッセージが表示された場合はファイルのコピー元に a:¥win9x と入力して[OK]ボタンをクリックしてください。



- 12.ファイルのコピーが終了後、コンピュータを再起動するよう画面で指示してきます。ドライバディスクをフロッピードライブから取り出し、[はい]ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。



3-3 インストールの確認

ドライバのインストールが終了したら以下の手順でインストールが正常に終了したかを確認してください。

- 1.[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、そこから[コントロールパネル]をダブルクリックしてください。

- 2.[システム]アイコンをダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[デバイスマネージャ]タブをクリックしてください。SCSIコントローラの左の[+]マークをクリックして「PLANEX SC-EX50 Ultra SCSI Adapter」が表示されるか確認してください。SCSIコントローラの下に「PLANEX SC-EX50 Ultra SCSI Adapter」が表示されない、またはアイコンに「?」や「!」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。3-4「ドライバの削除方法」の手順でドライバを一旦削除してから 3-1 または 3-2 の手順で再度インストールしてください。



- 3.「PLANEX SC-EX50 Ultra SCSI Adapter」を選択して[プロパティ]ボタンをクリックしてください。プロパティ画面の「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されればドライバのインストールは成功です。



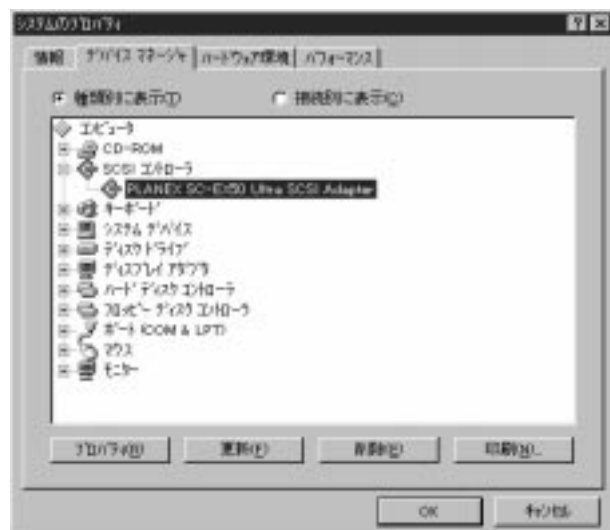
- 4.[リソース]タブをクリックすると、アダプタが使用しているリソース(I/Oポート、IRQ)を確認することができます。



3-4 ドライバの削除方法

ドライバの削除は以下の手順で行ってください。

1. 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」と開いて、「システム」をダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[デバイスマネージャ]タブをクリックしてください。SCSIコントローラの左の[+]マークをクリックすると「PLANEX SC-EX50 Ultra SCSI Adapter」が表示されるのでこれを選択し[削除]ボタンをクリックしてください。



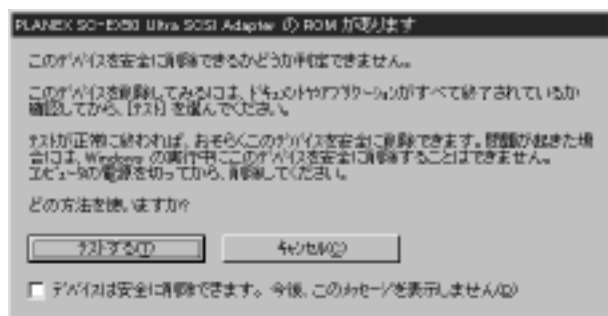
表示されない場合はドライバが正常にインストールされていない可能性があります。もし「その他のデバイス」が存在し、その左の[+]マークをクリックしたときに「PCI SCSI Bus Controller」が表示される場合はこれを選択し[削除]ボタンをクリックしてください。



2. 削除の確認のウィンドウが表示されるので[OK]ボタンをクリックしてください。



3. 以下のような画面が表示されるので、[テストする]ボタンをクリックしてください。



4. 「システムのプロパティ」ウィンドウに戻るので、[閉じる]ボタンをクリックしてからコンピュータを再起動してください。

本章では、本製品を Windows98 環境で使用する場合のドライバのインストール方法について説明します。
すでにインストールされている Windows98 環境で本製品を使用する場合は、4-1「既存の Windows98 環境へのドライバインストール」をご参照ください。本製品に接続したハードディスクドライブに Windows98 を新規にインストールする場合は、4-2「Windows98 の新規インストール」をご参照ください。

4-1 既存の Windows98 環境へのドライバインストール

1. 本製品をコンピュータにセットし、コンピュータの電源を入れます。
2. Windows98 起動時に本製品が「Initio INIC-940.....」と自動的に認識されます。
3. ファイルのコピーが開始されます。ファイルのコピー中に Windows98 CD-ROM を要求するメッセージが表示された場合は、Windows98 の CD-ROM をセットして[OK]ボタンをクリックしてください。



4. ファイルのコピーが終了後、コンピュータを再起動してください。
5. この段階では、本製品はWindows98 付属の Initio INIC-940 ドライバで動作しています。このままの状態で使用していただいて全く問題はありません。もし、本製品付属のドライバで使用する場合は、4-3「ドライバの更新」の方法でドライバを入れ替えてください。
6. SCSI ハードディスクドライブを使用する場合は、再起動後 Windows98 の MS-DOS プロンプトで、FDISK コマンドおよび FORMAT コマンドを使用してパーティションの作成と初期化を行ってください。

4-2 Windows98 の新規インストール

本製品に接続したハードディスクドライブ上に新規に Windows98 をインストールする場合は Windows98 の起動ディスクから通常のセットアップを行ってください。

インストール時に本製品に接続した CD-ROM ドライブを使用する場合は以下の手順でセットアップを行ってください。

1. Windows98 の起動ディスクに、本製品付属のドライバディスクの ¥DOS ディレクトリから以下の 2 つのファイルをコピーしてください。

aspi910u.sys
inicd.sys

2. Windows98 の起動ディスクの config.sys ファイルを以下のように変更してください。

- config.sys の [SETUP_CD] セクションに以下の 2 行を追加
device=aspi910u.sys
device=inicd.sys /D:oemcd001

- config.sys の [SETUP_CD] セクションから以下の 1 行を削除
device=aspicd.sys /D:oemcd001

3. 修正した Windows98 の起動ディスクから起動し、通常の手順でセットアップを実行してください。

4. Windows98 のインストールが終了した段階で、本製品は Windows98 付属の Initio SCSI ドライバで動作しています。このままの状態で使用していただいて全く問題はありません。もし、本製品付属のドライバで使用する場合は、4-3「ドライバの更新」の方法でドライバを入れ替えてください。

4-3 ドライバの更新

- 1.[マイコンピュータ] [コントロールパネル] [システム]と開いてください。
- 2.[デバイスマネージャ]タブをクリックしてください。[SCSIコントローラ]の左の[+]をクリックすると「Initio INIC-940」が表示されます。これを選択して[プロパティ]ボタンをクリックしてください。



- 3.[ドライバ]タブをクリックし[ドライバの更新]ボタンをクリックしてください。



- 4.「デバイスドライバの更新」ウィンドウが表示されます。[次へ]ボタンをクリックしてください。



- 5.検索方法に「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する」を選択し[次へ]ボタンをクリックしてください。



- 6.検索場所を指定するウィンドウが表示されるので、[検索場所の指定]のみをチェックし、他の項目からはチェックを外してください。検索場所に a:\¥win9x と入力してください。



- 7.本製品付属のドライバディスクをフロッピードライブに入れて、[次へ]ボタンをクリックしてください。

8. 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します」と表示されます。[次へ]ボタンをクリックしてください。



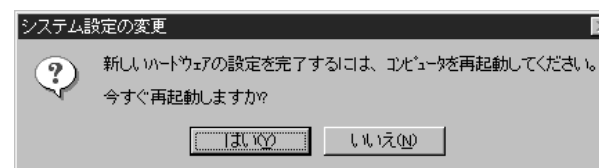
9. ファイルのコピーが開始されます。ファイルのコピー中に PLANEX SC-EX50 Driver Disk 上のファイルを要求するメッセージが表示された場合は、ディレクトリ名に a:\win9x と入力し[OK]ボタンをクリックしてください。



10. ファイルのコピーが終了後、「ハードウェアデバイス用の更新されたドライバのインストールが完了しました。」というメッセージが表示されます。[完了]ボタンをクリックしてください。



11. コンピュータを再起動するよう画面で指示してきます。ドライバディスクをドライブから取り出し、[はい]ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。



4-4 インストールの確認

ドライバのインストールが終了したら以下の手順でインストールが正常に終了したかを確認してください。

1.[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、そこから[コントロールパネル]をダブルクリックしてください。

2.[システム]アイコンをダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[デバイスマネージャ]タブをクリックしてください。SCSIコントローラの左の[+]マークをクリックして「PLANEX SC-EX50 Ultra SCSI Adapter」または「Initio INC-940」が表示されるか確認してください。表示されない、またはアイコンに「？」や「！」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。4-5「ドライバの削除方法」の手順でドライバを一旦削除してから 4-1「既存の Windows98 環境へのドライバインストール」の手順で再度インストールしてください。



- 3.「PLANEX SC-EX50 Ultra SCSI Adapter」または「Initio INIC-940」を選択して[プロパティ]ボタンをクリックしてください。プロパティ画面の「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されればドライバのインストールは成功です。



- 4.[リソース]タブをクリックすると、アダプタが使用しているリソース(I/Oポート、IRQ)を確認することができます。



4-5 ドライバの削除方法

ドライバの削除は以下の手順で行ってください。

1. 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」と開いて、「システム」をダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[デバイスマネージャ]タブをクリックしてください。SCSIコントローラの左の[+]マークをクリックすると「PLANEX SC-EX50 Ultra SCSI Adapter」または「Initio INIC-940」が表示されるのでこれを選択し[削除]ボタンをクリックしてください。



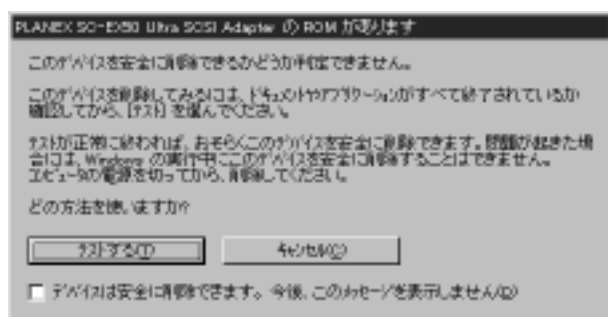
表示されない場合はドライバが正常にインストールされていない可能性があります。もし「その他のデバイス」が存在し、その左の[+]マークをクリックしたときに「PCI SCSI Bus Controller」が表示される場合はこれを選択し[削除]ボタンをクリックしてください。



2. 削除の確認のウィンドウが表示されるので[はい]ボタンをクリックしてください。



3. 以下のような画面が表示されるので、[テストする]ボタンをクリックしてください。



4. 「システムのプロパティ」ウィンドウに戻るので、[閉じる]ボタンをクリックしてからコンピュータを再起動してください。

本章では、本製品を WindowsNT4.0 環境で使用する場合は、本製品のインストール方法について説明します。すでにインストールされている WindowsNT4.0 環境で本製品を使用する場合は、5-1「既存の WindowsNT4.0 環境へのドライバインストール」をご参照ください。本製品に接続したハードディスクドライブに Windows95 を新規にインストールする場合は、5-2「WindowsNT4.0 の新規インストール」をご参照ください。

5-1

既存の WindowsNT4.0 環境へのドライバインストール

すでに WindowsNT4.0 がインストール済みの環境へ本製品をインストールする場合は以下の手順でインストールを行ってください。

1. [スタート]メニューの[設定]から[コントロールパネル]を選択してください。
2. コントロールパネルの[SCSIアダプタ]アイコンをダブルクリックしてください。

- 3.[SCSIアダプタ]ウィンドウが表示されます。[ドライバ]タブをクリックしてください。



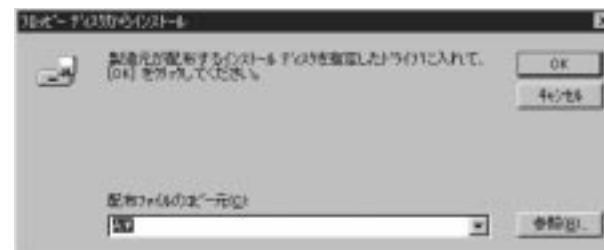
- 4.[追加]ボタンをクリックしてください。



- 5.[ドライバのインストール]ウィンドウが表示されるので、[ディスク使用]ボタンをクリックしてください。



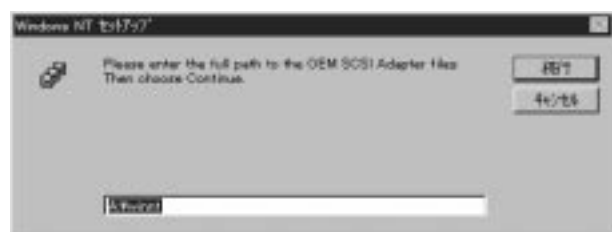
- 6.[フロッピーディスクからのインストール]ウィンドウが表示されます。本製品付属のドライバディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、[OK]ボタンをクリックしてください。



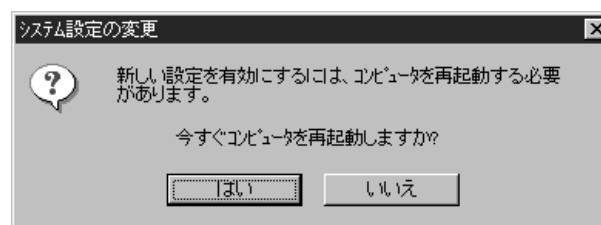
7.[ドライバのインストール]画面が表示されます。「PLANEX SC-EX50 Ultra SCSI Adapter」が表示されていることを確認し[OK]ボタンをクリックしてください。



8.Windows NTは、ドライバファイルのパスを確認してきます。「A:\winnt」と表示されていることを確認し、[続行]ボタンをクリックしてください。



9.[システム設定の変更]ウィンドウが表示されます。[はい]ボタンをクリックし、コンピュータを再起動してください。



5-2 WindowsNT4.0 の新規インストール

本製品に接続したハードディスクドライブ上に新規にWindowsNT4.0をインストールする場合は以下の手順でインストールを行ってください。

- 1.WindowsNTのインストール手順に従って、WindowsNTをセットアップします。Windows NT インストールディスクのセットアップディスク1を使ってコンピュータを起動してください。
- 2.大容量記憶装置の検出の画面で[S]キーを押して検出をスキップしてください。
- 3.[S]キーを押して追加デバイスの指定を選択してください。
- 4.アダプタのリストから"その他"を選択してください。
- 5.フロッピードライブに本製品付属のドライバディスクを入れ[Enter]キーを押してください。
- 6.「PLANEX SC-EX50 Ultra SCSI Adapter」を選択して[Enter]キーを押してください。
- 7.「セットアップはコンピュータに次の大容量記憶装置を検出しました。」の画面で「PLANEX SC-EX50 Ultra SCSI Adapter」が表示されていることを確認し[Enter]キーを押してください。
- 8.画面の指示に従ってインストールを続けてください。

5-3 インストールの確認

ドライバのインストールが終了したら以下の手順でインストールが正常に終了したかを確認してください。

- 1.「スタート」メニュー 「プログラム」 「管理ツール」 「WindowsNT 診断プログラム」と選択してください。
- 2.診断プログラムが起動したら[リソース]タブをクリックしてください。



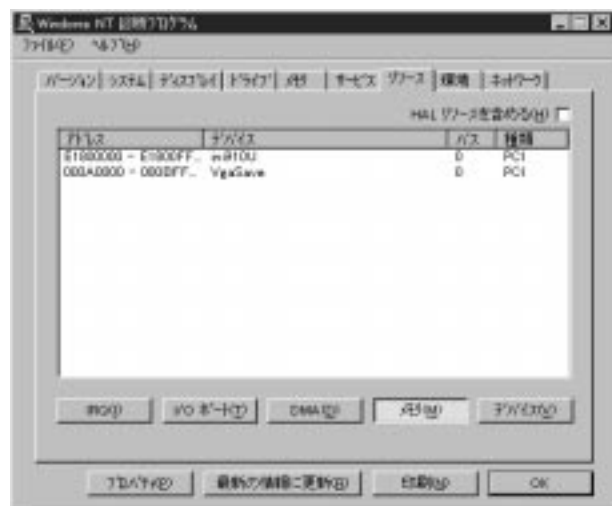
3.[IRQ]ボタンをクリックしてください。本製品はリソース画面では in910U という名前で表示されます。いずれかの IRQ が割り当てられていることを確認してください。



4.[I/Oポート]ボタンをクリックしてください。本製品はリソース画面では in910U という名前で表示されます。いずれかの I/O ポートが割り当てられていることを確認してください。



- 5.[メモリ]ボタンをクリックしてください。本製品はリソース画面
上ではin910Uという名前で表示されます。いずれかのメモリが
割り当てられていることを確認してください。



5-4 ドライバの削除

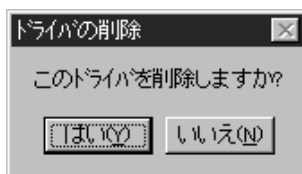
本製品のドライバを削除する場合は以下の手順で実行してください。

- 1.「マイコンピュータ」「コントロールパネル」と開いてください。
- 2.「SCSIアダプタ」アイコンをダブルクリックしてください。
- 3.「SCSIアダプタ」ウィンドウが表示されたら、[ドライバ]タブをクリックしてください。



- 4.リストから「PLANEX SC-EX50 Ultra SCSI Adapter」を選択して
[削除]ボタンをクリックしてください。

5. 削除の確認画面が表示されるので[はい]ボタンをクリックしてください。



6. [OK]ボタンをクリックしてください。
7. コンピュータを再起動してください。

6-1 既存のDOS環境へのインストール

すでにDOSがインストール済みの環境へ本製品をインストールする場合は以下の手順でインストールを行ってください。

1. DOSプロンプトから以下のコマンドを入力し、DOSを英語モードに切り替えてください。

```
chev us[Enter]
```

2. フロッピードライブに本製品付属のドライバディスクを入れてください。

3. DOSプロンプトから以下のコマンドを入力してください。

```
a:[Enter]  
dossetup[Enter]
```

4. 画面上の指示に従ってインストールを続行してください。

5. インストールが終了してDOSプロンプトに戻ったら、コンピュータを再起動してください。

< 備考 >

DOS FAT16 ファイルシステムの仕様上、プライマリ・パーティションは2ギガバイト(GB)以上には設定できません。この他のパーティションでは2GB以上に設定することも可能です。

6-2 DOSの新規インストール

本製品に接続したハードディスクドライブ上に新規にDOSをインストールする場合は以下の手順でインストールを行ってください。

1. フロッピードライブにDOSのセットアップディスクを入れてコンピュータを起動してください。画面の指示に従ってDOSのインストールを行ってください。
2. DOSのインストール終了後、6-1「既存のDOS環境へのインストール」の手順でドライバのインストールを行ってください。

< 備考 >

DOS FAT16 ファイルシステムの仕様上、プライマリ・パーティションは2ギガバイト(GB)以上には設定できません。この他のパーティションでは2GB以上に設定することも可能です。

第7章

Smart SCSIユーティリティ

本製品の設定変更は、ボード上のBIOS ROMに含まれるSmart SCSIユーティリティを使用して行います。

7-1 Smart SCSIユーティリティの起動

コンピュータ起動時に以下のようなメッセージが表示されます。このときに[Ctrl]キーと[I]キーを同時に押してください。

!!! Press <Ctrl><I> for SmartSCSI Setup Utility !!!

以下のようなSmartSCSIユーティリティのメインメニューが表示されます。

PCIS-EX50 SmartSCSI(TM) Setup Utility Ver.1.10 (C) 1994-97
PCI Bus:00 Device:08H Port:D000H IRQ:10
Scan Bus Device Setup Adapter Setup BIOS Setup Disk Utility

構成ユーティリティのメインメニューには以下の設定項目があります。カーソルキーでカーソルを移動し[Enter]キーで選択してください。

- Scan Bus
アダプタに接続されているSCSI機器の検出を行います。
- Device Setup
デバイスの設定を行います。
- Adapter Setup
アダプタの設定を行います。
- BIOS Setup
SCSI BIOSの設定を行います。
- Disk Utility
ハードディスクのローレベルフォーマットを行います。

SmartSCSIユーティリティでは以下のキーを使用します。

キー	用途
カーソルキー	カーソルの移動
Enter	選択項目の決定
+	設定値の変更
Esc	前のメニューに戻る

各設定項目で設定を変更した場合は[Esc]キーを押したときに設定内容を保存(Save)するか確認するメッセージが表示されます。保存する場合は「Yes」を、保存しない場合は「No」を選択してください。

7-2 Scan Bus (デバイスの検出)

本製品に接続されている SCSI 機器の検出を行います。以下のような画面が表示されます。以下の例では SCSI ID 0 に IBM 製のハードディスクが接続されています。

Press any key to exit

ID 0 : IBM DCAS-32160W

ID 1 : no device

ID 2 : no device

ID 3 : no device

ID 4 : no device

ID 5 : no device

ID 6 : no device

ID 7 : PCI SC-EX50 SCSI H/A

7-3 Device Setup (デバイス設定)

SCSI ID 毎にデバイスの設定を行います。以下のような画面が表示されます。

SCSI Device ID	#0	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7
Asynchronous Transfer	No	No	No	No	No	No	No	No
Max.Synchronous Transfer	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
BIOS Space > 1GB	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes
Spin Up Disk Drive	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes
Enable Disconnect	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes

「Asynchronous Transfer」

「Yes」に設定すると非同期転送モードで転送を行います。非同期転送モードでの最大転送速度は 5MByte/秒です。「No」に設定すると同期転送モードで転送を行います。通常は「No」に設定してください。初期値は「No」です。

「Max. Synchronous Transfer」

同期転送モードでの転送速度を設定します。20.0、13.3、10.0、8.0、6.6、5.7、5.0 が設定可能です。Ultra SCSI 機器を使用する場合は「20.0」に設定してください。初期値は「10.0」です。

「BIOS Space > 1GB」

容量が 1GByte より大きいハードディスクをサポートするかどうかを設定します。「Yes」に設定すると最大 8GByte の容量をサポートできます。「No」に設定すると最大 1GByte までのサポートになります。初期値は「Yes」です。

⚠ 注意 : 設定を変更するとハードディスク上の全てのデータが失われます。設定を変更する前に必要であればハードディスク上のデータのバックアップをとってください。

「Spin Up Disk Drive」

「Yes」に設定するとアダプタが起動時に SCSI デバイスに START コマンドを発行するようになります。初期値は「Yes」です。

「Enable Disconnect」

「Yes」に設定するとディスコネクト/リコネクト機能を使用します。「No」に設定するとディスコネクト/リコネクト機能を使用しません。通常は「Yes」に設定することを推奨します。初期値は「Yes」です。

7-4 Adapter Setup (アダプタ設定)

アダプタの設定を行います。以下のような画面が表示されます。

Host Adapter SCSI ID	7
Boot Device ID	0
SCSI Terminator	Automatic
SCSI Parity Check ON	Yes

「Host Adapter SCSI ID」

アダプタの SCSI ID を設定します。0 ~ 7 が設定可能です。通常はもっとも優先順位が高い「7」を設定します。初期値は「7」です。

「Boot Device ID」

起動デバイスの SCSI ID を設定します。0 ~ 7 が設定可能です。初期値は「0」です。

「SCSI Terminator」

アダプタ上の SCSI ターミネータの設定を行います。「Automatic」に設定すると自動設定となります。「On」に設定すると常に有効になります。「Off」に設定すると常に無効になります。初期値は「Automatic」です。

「SCSI Parity Check ON」

「Yes」に設定すると SCSI パリティチェックが有効になります。「No」に設定すると SCSI パリティチェックが無効になります。

7-5 BIOS Setup (BIOS 設定)

アダプタのBIOS設定を行います。以下のような画面が表示されます。

Enable Host Adapter BIOS	Yes
BIOS Support For More Than 2 Drives	Yes
BIOS Treat Removable Disk as Fixed Disk	No
BIOS Support for Bootable CD-ROM	No

「Enable Host Adapter BIOS」

アダプタのBIOSを有効または無効に設定します。「Yes」に設定するとBIOSが有効になります。「No」に設定するとBIOSが無効になります。この場合 SCSIデバイスからの起動はできなくなります。初期値は「Yes」です。

「BIOS Support For More Than 2 Drives」

「Yes」に設定するとMS-DOS 5.0以上を使用時に2台以上のドライブが使用可能になります。初期値は「Yes」です。

「BIOS Treat Removable Disk as Fixed Disk」

「Yes」に設定すると、アダプタがリムーバブルメディアをハードディスクと見なして動作するようになります。この場合、リムーバブルメディア用の専用ドライバを使用しないで済むようになります。「No」に設定した場合はリムーバブルメディア用の専用ドライバが必要になります。初期値は「No」です。

▲ 注意 : リムーバブルメディアが動作中にはメディアを取り出さないでください。メディア上のデータが破損することがあります。

「BIOS Support for Bootable CD-ROM」

「Yes」に設定すると起動用のCD-ROMから起動できるようになります。「No」に設定した場合はCD-ROMからの起動はできません。初期値は「No」です。

7-6 Disk Utility

ハードディスクのローレベルフォーマットまたはメディアの検査を行います。以下のような画面が表示されます。ローレベルフォーマットまたはメディア検査を行いたいハードディスクを選択し[Enter]キーを押してください。

```
Select the Disk and Press <Enter>
ID 0 : IBM   DCAS-32160W
ID 1 : no device
ID 2 : no device
ID 3 : no device
ID 4 : no device
ID 5 : no device
ID 6 : no device
ID 7 : PCI SC-EX50 SCSI H/A
```

「Verify Disk」

ハードディスクのメディアの検査を行います。不良セクタが発見されると以下のようなメニューが表示されます。どちらかを選択してください。

Reassign : 不良セクタを他のセクタに再割り当てします。再割り当てを行うと、発見された不良セクタは以後使用されることはありません。

Skip : 不良セクタの再割り当てを行いません。

「Format Disk」

ハードディスクのローレベルフォーマットを行います。

付録 A トラブルシューティング

起動時に本製品が認識されない。

本製品がコンピュータのPCIスロットにしっかりとインストールされているか確認してください。

本製品をインストールしたPCIスロットがPCI Rev.2.1 バスマスタに対応しているか確認してください。

本製品を別のPCIスロットにインストールしてみてください。

SCSIデバイスが認識されない。

SCSIデバイスの電源が入っているか確認してください。

ケーブル長に問題がないか確認してください。最大ケーブル長については、2-4「SCSIバスの最大長」を参照してください。

各SCSIケーブルの終端が正しくターミネートされているか確認してください。また、ケーブルの中間のSCSIデバイスのターミネータが有効になっていないか確認してください。

SCSI IDが重複していないか確認してください。

複数のSCSIデバイスを接続している場合はデバイスを1台ずつ接続して特定のデバイスの不良ではないかを確認してください。

Ultra SCSI機器の速度が遅い

Ultra SCSI機器と他のSCSI機器を混在して接続している場合は、他のSCSI機器がディスコネクト/リコネクト機能に対応しており、また「Device Setup」の「Enable Disconnect」が「Yes」に設定されているか確認してください。他のSCSI機器がディスコネクト/リコネクト機能に対応していない場合は、Ultra SCSI機器本来の性能(20MB/秒)を発揮することはできません。

付録 B 接続例

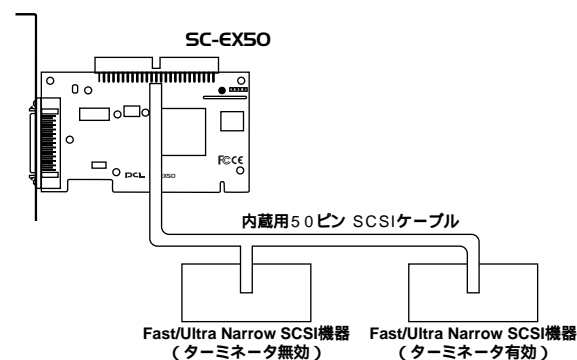


図 B-1 内蔵 SCSI 機器の接続例

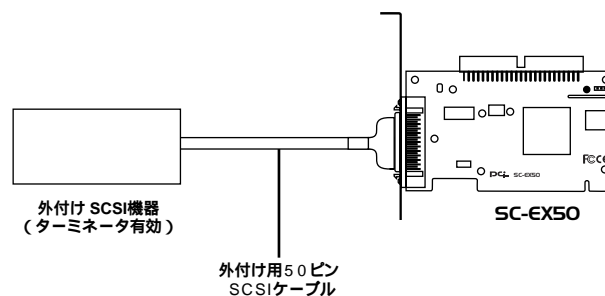


図 B-2 外付け SCSI 機器の接続例

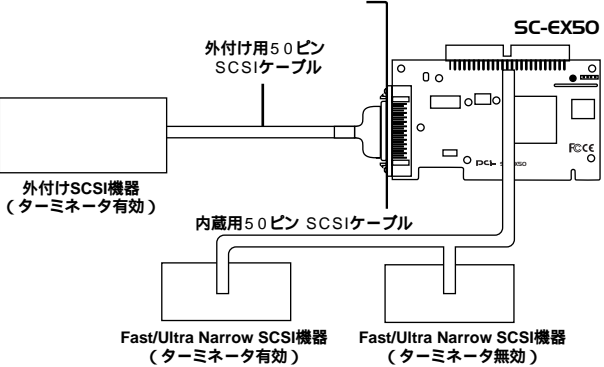


図 B-3 内蔵/外付け機器を同時に接続する場合

付録C
仕様

- バスタイプ : 32ビットPCI(バスマスタ) PCI Rev.2.1
- データ転送方式 : バスマスタ方式
- SCSI規格 : SCSI-1、Fast SCSI、Ultra SCSI
- 転送速度 : 最大20MByte/秒
- インターフェース
内蔵SCSI機器接続 : 50ピンコネクタ×1
外付SCSI機器接続 : 50ピンコネクタ×1
- 消費電力 : 最大350mW
- 動作温度 : 0 ~ 40
- 動作湿度 : 35 ~ 85%(結露しないこと)
- 外形寸法 : 12.0cm × 7.0cm
- EMI : FCC Class B、CE

技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは
お気軽に下記へご連絡ください。

なお「ユーザー登録はがき」をご返送またはホームページにて
ユーザー登録をおこなっていただいていない場合には、
一切サポートは受けられませんのでご注意ください。

フリーダイヤル：0120-415977

FAX：03-3256-9207

受付時間

月曜日～金曜日(祭日は除く)

10:00～12:00・13:00～17:00

ご質問の受付やドライバのアップデートを
下記 www サーバで行なっておりますのでご利用ください。

<http://www.planex.co.jp/>

E-MAIL: info-planex@planex.co.jp

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

© Copyright 1999 PLANEX COMMUNICATIONS INC. All rights reserved.

質問票

技術的なご質問は、この 2 ページをコピーして必要事項を
ご記入の上、下記FAX 番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当行
FAX : 03-3256-9207

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名	ULTRA SCSI ADAPTER
型番 Product No.	SC-EX50
製造番号 Serial No.	

ご使用の SCSI機器	メーカー	
	型番	

ソフトウェア	OS	バージョン
--------	----	-------

ご使用の パソコン について	メーカー			
	型番			
	その他使用中のカード(SCSI / Sound Card 等)	IRQ	I/O ADDR	

トラブル(エラーメッセージ)発生時とその具体的な場所

パソコン起動時

INTERFACE CARD 構成時

CONFIG.SYS読み込み中

バッチファイル読み込み中

その他

質問内容

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

保 証 規 定

この製品は、厳密な検査に合格したものです。保証期間内に、お客様の正常なご使用状態の元で万一故障した場合には、本保証規定に従い無償で修理をさせていただきます。

ご購入後 1 ヶ月以内に発生した故障については初期不良交換対象となります。1 ヶ月を過ぎた場合は修理扱いとさせていただきますのでご了承ください。なお、弊社はセンドバック方式をとらせていただいております。

故障の場合には、製品をお客様送料ご負担にて郵送していただき、弊社まで修理をご依頼ください。

ただし、次のような場合には保証期間内においても、有償修理となります。

1. ユーザー登録を行っていない場合
2. 購入日が明記されていない場合
3. 取扱上の誤りによる故障及び損傷、不当な修理や改造などをされた場合
4. お買い上げ後の移動、落下または郵送などにより故障、損傷が生じた場合
5. 火災、天災、地変、ガス害、または異常電圧により故障、損傷が生じた場合

保証書は、日本国内においてのみ有効です。

保証期間は、製品お買い上げ日より算定いたします。

保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

保 証 書

弊社の保証規定を必ずご覧ください。

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日より 1 年間
製品名	ULTRA SCSI ADAPTER
型番 Product No.	SC-EX50
製造番号 Serial No.	

個人使用 法人使用（チェックしてください。） 個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。	
フリガナ	
会社名 （個人名）	
部課名	
フリガナ	
担当者名	
フリガナ	
住 所	<div>□□□□-□□□□ 都 府 道 県</div>
電 話	— — 内線
F A X	— —
E-MAIL	

購入店名 所在地	
-------------	--

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ホームページ上でユーザー登録を行って戴いたお客様には抽選でプレゼントを差し上げております。ぜひホームページ上のユーザー登録をご利用くださいますようお願いいたします。

<http://www.planex.co.jp/>

インターネットをご使用になれないお客様は、本マニュアル最終ページのユーザー登録はがきをご使用ください。切り取って必要事項をご記入の上、弊社宛にご返送ください。インターネット上でユーザー登録をされたお客様は、ユーザー登録はがきをご返送いただく必要はありません。

ユーザー登録書の記入方法

ユーザー登録書をご記入いただく場合には、以下の事項を参考にしてください。

“製造番号”には、パッケージ側面に貼られているバーコードシールの“S/N”または商品裏側に記されている内容をご記入ください。

ユーザー登録書の表面の使用環境を忘れずに必ずご記入ください。サポート時の参考情報とさせていただきます。

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

郵便はがき

101-0041

お手数ですが
切手を貼り
ポストに
ご投函下さい。

東京都千代田区神田須田町 1-7
ウイン神田高橋ビル 5F

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

『テクニカル・サポート担当』 行

ご使用になっている環境をお知らせください。

使用 ネットワーク OS	
使用 OS	
使用機種	

ユーザー登録書
(プラネックスコミュニケーションズ 控)

購入日	西暦 年 月 日
製品名	ULTRA SCSI ADAPTER
型番 <small>Product No.</small>	SC-EX50
製造番号 <small>Serial No.</small>	

個人使用 法人使用 (チェックしてください。) <small>個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。</small>	
フリガナ	
会社名 (個人名)	
部課名	
フリガナ	
担当者名	
フリガナ	
住 所	<div>□□□-□□□□ 都 府 道 県</div>
電 話	— — 内線
F A X	— —
E-MAIL	

購入店名 所在地	
-------------	--

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

切り取り線